



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社東京會館
コード番号 9701 URL <http://www.kaikan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤原 幸弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 鈴木 輝伯

四半期報告書提出予定日 平成27年11月11日

TEL 03-3215-2111

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	2,793	△38.8	△629	—	△611	—	△662	—
27年3月期第2四半期	4,567	△2.4	△62	—	△42	—	△51	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	△19.82	—
27年3月期第2四半期	△1.55	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	9,844	63.5	6,253	63.5		
27年3月期	11,214	62.9	7,054	62.9		

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 6,253百万円 27年3月期 7,054百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	2.50	2.50
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)平成28年3月期の配当予想につきましては未定であります。

3. 平成28年 3月期の業績予想(平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,760	△40.8	△1,040	—	△1,010	—	0	—	0.00

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	34,639,434 株	27年3月期	34,639,434 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	1,214,907 株	27年3月期	1,213,791 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	33,424,874 株	27年3月期2Q	33,428,567 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、消費の本格的な回復の遅れ、中国や新興国の景気減速による輸出の伸び悩みなどの影響を受け、全体的に弱含みで推移しました。当社は、本年2月以降建替えのため本館を休館としたことにより、当年度より浜松町東京會館以下14営業所だけでの営業を強いられることになり、経営的に大変厳しい状況下に入りました。このため本館休館に伴うマイナス分を少しでも取り戻すべく本館顧客に対し、当社営業所の利用を強力にセールスするとともに、出張宴会の拡販や東京交通會館ビル屋上にビアテラスを出店するなど、各営業所の集客力の強化と売上の増加に全力を注いでまいりました。

宴会部門につきましては、一般宴会は、本館顧客宴会を各営業所へ積極的に誘致するとともに新規顧客開拓を重点に企業や各種団体に対するセールス活動を強化いたしました。特に、本館顧客担当の営業マンを各営業所へ配置し、集客と売上の増進に鋭意努力いたしました結果、既存営業所の売上は前年同四半期比29%増となりました。一方、婚礼については、ブライダルフェアを頻繁に開催するとともに、婚礼情報誌の掲載広告を刷新するなど宣伝活動の充実を図り、婚礼組数の獲得に積極的に取り組みました。しかしながら主力の本館休館により、宴会部門の売上高は、1,216百万円（前年同四半期比52%減）となりました。

食堂部門につきましては、本館から移転オープンした店舗をはじめ、ビアテラスの新規出店など、各営業所のレストランの特性を活かした魅力あるメニューの提供や各種フェアを企画するとともに、WEBセールスにも注力し、売上の拡大に努めました。その結果、既存営業所の売上は前年同四半期比13%増となりましたが、主力の収入源である本館休館の影響を受け、食堂部門の売上高は1,294百万円（前年同四半期比21%減）となりました。

当第2四半期累計期間において、既存14営業所の売上は前年同四半期比379百万円、16%増加しました。しかしながら、本館休館に伴う売上減少が大きく（前年同四半期本館売上2,153百万円、社内売上比率47%）、当第2四半期売上高は前年同四半期比39%減の2,793百万円となりました。経費面では、社員の同業他社への出向、アルバイト・派遣社員の大幅減員による人件費の圧縮、料理材料原価管理の徹底、委託商品の内製化、一般経費の節減等に取り組み、コストの削減に努めてまいりました。以上、営業・管理両面において出来得る限りの対策を講じてまいりましたが、営業損失629百万円（前年同四半期同62百万円）、経常損失611百万円（同42百万円）、四半期純損失662百万円（同51百万円）を余儀なくされる結果となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末比1,370百万円(12.2%)減少して、9,844百万円となりました。

流動資産は同1,240百万円(31.7%)減少の2,676百万円、固定資産は同130百万円(1.8%)減少の7,168百万円となりました。流動資産減少の主な要因は、現金及び預金が1,147百万円、売掛金が60百万円それぞれ減少したことなどです。

固定資産のうち有形固定資産は、24百万円増加の4,094百万円となり、これは建設仮勘定が62百万円増加し、減価償却の実施により86百万円減少したことなどによります。

負債合計は、前事業年度末比569百万円(13.7%)減少して3,590百万円となりました。流動負債は同376百万円(26.6%)減少の1,040百万円、固定負債は同192百万円(7.0%)減少の2,550百万円となりました。流動負債減少の主な要因は、未払金が183百万円、「その他」に計上している未払消費税等が130百万円、それぞれ減少したことです。

純資産合計は、前事業年度末比801百万円(11.4%)減少して6,253百万円となりました。その主な要因は、配当の支払いを行い、四半期純損失を計上したことによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

本館を建替えのために休館としたことにより当社の経営環境は厳しいものとなっておりますが、各営業所の集客力を一層強化し売上の増加を図ってまいります。建替えに伴う土地の売却による固定資産売却益を見込んでおり当期純利益につきましては休館の影響が緩和されると予想しておりますが、継続的な諸費用の削減と業務の効率化により営業損失の縮減に努めてまいります。

なお、当第2四半期累計期間における業績の進捗状況を勘案し、業績の見直しを行った結果、平成27年5月13日に発表いたしました平成28年3月期の業績予想を以下のとおり修正いたしました。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成27年5月13 日発表)	百万円 5,400	百万円 1,200	百万円 1,170	百万円 200	円 銭 5.98
今回修正予想(B)	5,760	1,040	1,010	0	0.00
増減額(B - A)	360	160	160	200	
増減率(%)	6.7				
(参考)前期実績	9,722	326	370	103	3.09

2. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,759,766	612,017
売掛金	397,413	337,379
有価証券	1,499,900	1,499,806
商品及び製品	40,686	40,524
仕掛品	7,130	8,057
原材料及び貯蔵品	54,745	60,164
その他	157,590	119,186
貸倒引当金	1,089	1,071
流動資産合計	3,916,142	2,676,065
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	460,307	438,351
機械装置及び運搬具(純額)	87,066	87,950
工具、器具及び備品(純額)	307,015	290,451
土地	2,970,755	2,970,755
建設仮勘定	245,152	307,152
有形固定資産合計	4,070,297	4,094,663
無形固定資産		
電話加入権	3,009	3,009
無形固定資産合計	3,009	3,009
投資その他の資産		
投資有価証券	1,713,955	1,632,853
繰延税金資産	488,788	470,983
その他	1,022,265	966,635
投資その他の資産合計	3,225,010	3,070,471
固定資産合計	7,298,317	7,168,144
資産合計	11,214,460	9,844,209

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年 3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年 9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	149,250	138,109
短期借入金	380,000	380,000
未払金	441,845	258,198
未払法人税等	25,582	25,096
賞与引当金	116,070	82,510
その他	303,972	156,314
流動負債合計	1,416,720	1,040,228
固定負債		
退職給付引当金	2,260,159	2,121,713
資産除去債務	59,805	60,071
その他	422,950	368,410
固定負債合計	2,742,915	2,550,194
負債合計	4,159,635	3,590,423
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,700,011	3,700,011
資本剰余金	2,883,140	2,883,140
利益剰余金	292,813	453,246
自己株式	435,870	436,197
株主資本合計	6,440,095	5,693,708
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	614,729	560,078
評価・換算差額等合計	614,729	560,078
純資産合計	7,054,824	6,253,786
負債純資産合計	11,214,460	9,844,209

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	4,567,031	2,793,397
売上原価	4,197,117	2,644,069
売上総利益	369,913	149,327
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	229,026	398,358
賞与引当金繰入額	6,960	22,600
その他	196,438	358,020
販売費及び一般管理費合計	432,424	778,978
営業損失()	62,511	629,650
営業外収益		
受取利息	4,166	1,115
受取配当金	12,864	14,787
その他	7,023	6,643
営業外収益合計	24,054	22,546
営業外費用		
支払利息	2,794	2,781
コミットメントフィー	1,375	1,375
その他	152	5
営業外費用合計	4,322	4,161
経常損失()	42,779	611,266
特別利益		
投資有価証券売却益	44,067	-
特別利益合計	44,067	-
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 ()	1,288	611,266
法人税、住民税及び事業税	6,605	6,605
法人税等調整額	46,595	44,624
法人税等合計	53,200	51,229
四半期純損失()	51,911	662,495

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失()	1,288	611,266
減価償却費	74,077	86,427
退職給付引当金の増減額(は減少)	133,775	138,446
賞与引当金の増減額(は減少)	2,490	33,560
貸倒引当金の増減額(は減少)	25	17
受取利息及び受取配当金	17,031	15,902
支払利息	2,794	2,781
支払手数料	1,375	1,375
投資有価証券売却損益(は益)	44,067	-
売上債権の増減額(は増加)	64,776	60,033
たな卸資産の増減額(は増加)	12,278	6,183
その他の流動資産の増減額(は増加)	56,772	34,777
仕入債務の増減額(は減少)	28,648	11,141
その他の流動負債の増減額(は減少)	27,327	192,971
長期未払金の増減額(は減少)	-	51,540
その他	11,970	10,488
小計	16,896	865,146
利息及び配当金の受取額	17,999	15,478
利息の支払額	2,789	2,783
法人税等の支払額	27,827	4,521
営業活動によるキャッシュ・フロー	29,513	856,971
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	330,000	-
定期預金の払戻による収入	330,000	1,030,000
有価証券の取得による支出	-	2,999,323
有価証券の償還による収入	1,000,266	3,000,043
投資有価証券の取得による支出	756	400
投資有価証券の売却による収入	49,156	-
有形固定資産の取得による支出	86,595	235,952
貸付けによる支出	300	1,200
貸付金の回収による収入	4,049	1,642
敷金及び保証金の差入による支出	1,560	-
敷金及び保証金の回収による収入	13,303	10,360
保険積立金の積立による支出	63,777	13,357
保険積立金の払戻による収入	44,748	58,185
資産除去債務の履行による支出	-	27,936
投資活動によるキャッシュ・フロー	958,533	822,061
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	798	327
配当金の支払額	82,738	82,510
財務活動によるキャッシュ・フロー	83,536	82,837
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	845,482	117,748
現金及び現金同等物の期首残高	1,247,280	729,766
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,092,763	612,017

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第 2 四半期累計期間 (自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 27 年 9 月 30 日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第 2 四半期累計期間 (自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 27 年 9 月 30 日)

該当事項はありません。